

令和2年度第2回美浜町総合計画審議会議事録

日 時：令和2年5月22日（金）10時～12時

場 所：美浜町保健センター 3階 集団指導室

出席者：審議会委員14名、事務局6名

審議会 千頭会長、牧副会長、川上委員、岩本委員、内田委員、吉田委員、
野田委員、横田(全)委員、廣澤委員、廣重委員、久木委員、
富谷委員、鈴木委員、伊藤委員

事務局 杉本総務部長、戸田企画課長、成田総務部主幹、森田企画課係長、
村田主査、酒井主事

次 第：1 あいさつ

2 今までの振り返り

3 議題

- (1) 第5次美浜町総合計画中間見直し素案について
- (2) 意見聴取について
- (3) 意見交換

4 今後の予定について

1. あいさつ（進行：戸田企画課長）

- ・会議成立の報告
- ・欠席者の報告 横田(和)委員、末盛委員
- ・辞退者の報告 横田委員、岩川委員、加藤委員
- ・新委員の紹介 内田委員（公募）、鈴木委員（父母の会）
- ・杉本総務部長あいさつ
- ・千頭会長あいさつ

2. 今までの振り返り（説明：森田企画課係長）

- ・事務局から説明

3. 議題（進行：千頭会長）

(1) 第5次美浜町総合計画中間見直し素案について

事務局：資料に沿い「序論」「基本構想」「基本計画」が説明された。

「序論」「基本構想」は追加部分を中心に、「基本計画」については特に力を入れる計画の報告が行われた。

(2) 意見聴取について

1) 「序論」と「基本構想」に関して

委 員：アフターコロナを考えた時、税収減等大きな影響が町におよぶ。今後の町の変化につい

て柔軟に対応するという記述が必要ではないか。

事務局：「序論」において検討したい。関連課との相談の上で修正する。

会長：将来の推計人口について、策定時の数値から 1,000 人減らし、人口推計を 21,500 人へ修正した。大学が立地する美浜町の特性に合わせた確度の高い手法を用いて試算した結果である。

委員：マイナス 1,000 人であるが広報誌の数字を見るともっと減っていくような感じがする。ご検討いただきたい。

美浜町の特色は、観光である。野間大坊等、名所がたくさんあり、土地利用に「観光ゾーン」が必要ではないか。

事務局：人口推計は、国勢調査の数値に基づいている。一方で広報誌は、住民基本台帳の数値を掲載しているので、差が生じる。大学スポーツ科学部も、平成 29 年 4 月の開設から今年度で 4 学年が揃う。そういう観点から学生の増加を見込んだ希望的な数値でもある。

「土地利用構想」として表現する際、点在する 1 つ 1 つの観光スポットを記載するのは困難である。都市計画マスターplanとの整合性の兼ね合いもあるのでご理解願いたい。また「海浜ゾーン」の中にも観光（海水浴、潮干狩り等）を含め、文言としても書いてある。

会長：ゾーンとして表現しづらいなら、文章として観光の要素を更に追記する方法もあるのではないか。

委員：「海浜ゾーン」を「海浜観光ゾーン」とすべきではないのか。「観光農業ゾーン」の観光とは一体どういう意味何なのか。

事務局：観光をとってしまうと「農業ゾーン」と区別がつかなくなってしまう。説明文章の表記を理解しやすくなるよう補足したい。

委員：広域農業道路沿いで観光農園を作り農業を振興しようというのがきっかけではないのか。

委員：住民には詳しい記載がないと分からないので、しっかり書くべきである。

委員：「地域活力ゾーン」についても、もう少し詳しく説明して欲しい。

事務局：策定時では、「企業立地ゾーン」であった。これまで企業誘致を推進してきたゾーンであり、南部については、現在メガソーラーやフィール、カインズホームが立地している。平成 30 年より愛知県企業庁へ企業誘致の候補地について相談をしており、「平坦」「名古屋に近い北部」「知多半島道路インターに近い」「西部線にアクセス可能」な地域を追加（上野間と北方）した。昨年、県内企業 1,000 社に美浜進出の可能性を問うアンケートを実施したところ、8 社から美浜町が候補地になるという回答があった。

委員：東部線の整備についても考えてもらいたい。

委員：13 頁の戦略②に「町内での二世代・三世代居住を促進し」と、現状に逆行する文言をあえて入れた意味は何か。

事務局：あくまで中間見直しであり、現計画の戦略は原則変えない。時代に合っていないというご指摘であれば説明文章の内容を再度検討する。

委員：戦略③に「保育所が充実しているという強み」、とある一方、基本計画には保育所の統合について書いてあり矛盾と感じてしまう。保育所を再編成して充実を図る、というような内容を戦略に記載すべきだ。子育て施設の充実は魅力的であるので、美浜町の生産人

人口増加への対策にもなる。

委 員：戦略①の「交流人口の増加」について、奥田の運動公園を明記すべきではないか。

委 員：戦略③の「子育て環境の充実」について、環境だけではなく教育というソフト面についての記述を加えてもらいたい。

事務局：変えないのは戦略の柱であり、各戦略の説明部分の表現についてはご指摘の点を踏まえて、より良い表現に改めたい。

委 員：戦略④の「絆づくり」について、コロナ対策に関する記述を入れるべきだ。医療体制、災害時の避難問題は住民の関心が高い。序論とともに基本構想にも書くべき。

2) 「基本計画（見直し案）」の第1章から第3章に関して

委 員：【1-2】市街地の整備、施策④の「事業化の再検討」について疑問がある。

事務局：調整区域への逆線引きを行うという意味での再検討とご理解願いたい。

委 員：【1-4】港湾の整備と活用、主な実績③の見直しや施策③について具体的な記述がない。
この施策は津波や東南海地震のためにするものである。このような施策は、住民から行政に投げかけないといけない事柄なのか。行政主導で進めていくものなのか。

事務局：建設課に伝え、具体的な記述に修正したい。施策については、行政がやるべきことである。また住民からも要望を出してほしい。

委 員：【2-3】地震・津波・がけ崩れなどへの対策、施策①の記述の中に自主的な防災訓練の実施とあるが、各組織間における連携がされていないことに対して、小中学校の校長先生が危機感を持っておられる。「連携」と言う文言をどこに入れて欲しい。

【1-6】排水処理、合併処理浄化槽の設置が推進されているが、新築時の設置に対する補助金が無いと住民からの声があった。補助金は無くなったのか、削減されたのか。

事務局：合併処理浄化槽設置の推進については、汚水処理率を上げることが町の目標である。新築については、合併処理浄化槽を必ず使うことになる。財政状況の問題で、今後も新築に対する補助金は難しい。

3) 「基本計画（見直し案）」の第4章から第6章に関して

委 員：【4-5】子どもの福祉・健康・母子保健の連携・体制整備、コロナの問題で南部保育所や河和南部小学校の統廃合についての住民説明会が出来ていない。

事務局：本来1月に開催予定だったが、コロナ禍の影響で、南部小学校・保育園の再編について説明会が出来ていない。当初の予定より1年延びると聞いているが、正式な発表については、もう少し待っていただきたい。

委 員：【6-1】ボランティア活動の支援と育成、長いこと取り組んでいる割にはこれぞという実績がない。これまで町がやってきた事業を今後も町だけでやり続けるには無理がある。町民の協力を得て、行政と住民とが協働で事業を行っていくような組織づくりが大切ではないか。子ども食堂、サロンについては活発的な活動であるように思う。

事務局：まちづくりの団体に対する補助金制度はしている。組織づくりに対する記述について検討し追記したい。

委 員：【5-1】生涯学習の推進、施策③について今年度から図書館が民営化された。開館時間が

18時までで、夜間は開放していない。利用者も年々減少しており、この傾向が民営化によって拍車がかかるのではないか。もとの町による運営に戻せないか。住民サイドに立ってより良いサービスの提供に努めてほしい。そういう内容を施策③の中に入れられないか。

事務局：指定管理者制度によって住民サービスを低下させることはない。

会長：民営化ではなくてあくまでも指定管理である。開館時間の設定は行政がすることである。

委員：【5-2】学校教育の充実、今後の課題の中で、学校再編についてはもう少し踏み込んだ内容を書いて欲しい。書けない事情があるのかも知れないが、現総合計画の最終年度である2025年度に実施されることだ。

委員：確かに具体性が見えない。どこに、どんな規模で建設するのか、通学の交通手段等、もう少し具体的に記載すると良い。

事務局：学校教育課と協議の上、具体的な記述を掲載できるように検討する。

委員：【5-3】スポーツ・レクリエーションの充実、やるべきことはスポーツ人口の増加である。

実際にスポーツ少年団の団体加盟数が減っている。そのためには、リーダーや指導者の確保やスポーツ教室をもっと作るべきである。町主催のスポーツイベント、新たな町民スポーツ大会も必要である。日本福祉大学も巻き込んで取り組んでいくという内容を施策の中に入れて欲しい。

委員：学校のことであるが、体育館の辺りに小中一貫校を作りバスで通学、という噂がある。ほぼ決まっていることなら、あくまで計画だが、と前置きした上で書くべきである。子どもが通う野間小学校は1学年15人程度、部活も選ぶことができない。クラスが少人数過ぎて子どもが不憫である。問題が起こるとすぐに家庭に連絡がくる。また、子どもはスポーツをしているがその大会に学校行事を休んで参加させてしまっている。スポーツ充実も大切ではあるが、本来子どもは学校が中心である。施策については、バランスをとった書き方が必要である。

委員：子ども110番という言葉を学校関係の施策の中で記載してほしい。小学校において、児童たちにしっかりと子ども110番について教えてもらいたいと考えているので、その記述も追記してほしい。

委員：農業委員会では、太陽光発電の許可申請を行っており、知多半島（特に美浜町）は、太陽光発電が多い地域だ。営農型太陽光発電を国が奨励しているようだが、優良農地が設備の設置のために効率的に活用できなくなるのではないか。また、今は発電できるとしても、耐用年数経過後の20～30年後はどうなるのか。

事務局：現在は、撤去費用を確保する資金計画の提出が認可の必須条件となっている。

委員：町は、太陽光発電設置による土砂崩れ等の問題をどのように考えているのか。設置後も現況確認をしているのか。また、太陽光発電の問題含め、安全で「住みよい町」という視点がこの計画から見えてこない。これがないと下宿の大学生も住んでくれないのでないか。

事務局：造成段階で太陽光部分でだけでなくその周辺（のり面、排水面等）も点検、確認をしている。また、この計画は町の最上位計画であり、住民の安心・安全な生活を守るため、ご指摘の細かい部分については全庁的に対応ていきたい。

委 員 : 【3-1】 農業振興、農業者数が増えないことは、農業者の高齢化が主な原因である。農業は町の基幹産業である。今までよいか、原点に戻つてもう一度農業関係者と話し合い新しい取り組みができるかよく検討して欲しい。

委 員 : 基本計画の文言について修正をお願いしたい。【3-2】、【4-6】等の「障害者」を「障がい者」に修正。【6-1】施策③の「NPO 法人化」を「法人化」に修正。今は、一般社団法人も増えているので、NPO に限定する必要はないのではないか。【6-5】実績(2)「男女共同参画を進める会」を「美浜女性の会」に修正。オータムフォーラムの主催は、美浜女性の会であるので修正を願いたい。

委 員 : 新型コロナ感染症、防災の拠点としての病院の記述がないと思う。あえて書いていいのか。また、厚生病院には産婦人科がなく住民が不安に思っているので、そういった住民感情を記載できないか。

事務局 : 【4-2】 地域医療の確保、にて病院に対する記述を記載している。しかし、コロナ禍以前の記述であり、コロナ対策含め検討し記載したい。

最後に事務局より 5 月 27 日締め切りで、意見・提言等の追加がある場合は、「意見メモ用紙」に記入し提出いただくよう委員に対し依頼した。

4. 今後の予定について

- ・事務局より、次回の審議会では、本日の意見を反映させた「中間見直し案」を提出する旨表明があった。

【第 3 回審議会 令和 2 年 6 月 18 日（木）9：30 開始】

以上